

アジア・太平洋研究センター 研究会

日系メーカーアジア子会社における 現地人材育成の取り組み

報告者：林 尚志（南山大学教授）

近年、日系メーカー各社は中国などアジアでの生産拠点を拡大し、現地の人材や技能の育成に大きな役割を果たしてきましたが、一方で、日系メーカーは欧米系メーカーに比べると“現地人材の経営幹部への登用”に消極的であり、「現地の人材に十分な活躍の機会を与えてこなかった」という指摘もなされてきました。

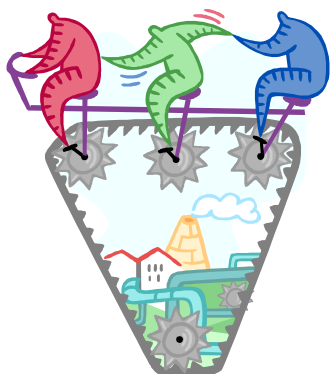
報告では、このような状況を理解するにあたって、「日系メーカーと現地従業員との間に“職務に対する意識や考え方の違い”が存在し、人材育成にあたって種々の問題が生じやすい」という“ミスマッチの問題”に注目した上で、日系メーカー各社が“着実進展型”、“試行錯誤型”、“一気改革型”など多様な形で、“型モデル”(日本企業と整合的)と“型モデル”(現地従業員と整合的)の段階的融合」ともいえるべき取り組みを進めてきたという点を例証することを試みます。

日 時：2008年7月22日(火)

17:00～19:00

場 所：南山大学名古屋キャンパス

J棟1階 特別合同研究室(Pルーム)



お問い合わせ

連絡先：南山大学アジア・太平洋研究センター

住所：〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

電話：052-832-3111(内線3428・3429)

E-mail：cfas@ic.nanzan-u.ac.jp